

本別町と白糠町の包括交流連携の概要



本別町

- ◆ 十勝東北部に位置し、北海道横断自動車道の帯広・釧路・北見を結ぶジャンクションを有する。内陸性の気候で冬の寒さは厳しいが、積雪は比較的少なく、晴天日数が多い。基幹産業は農業。人口 8,019 人 (H25.2 末)。
- ◆ 学びを生かした「ひとづくり」を基本に協働のまちづくりを推進。農畜産物の新たな付加価値の創出や雇用拡大を図るとともに、「保健・医療・福祉」の一体的整備により町民の安心・安全・健康を確保し、活力あるまちづくりを目指している。



白糠町

- ◆ 釧路南西部に位置し、東西は釧路市、北は浦幌町、本別町、足寄町に接し、南は太平洋に面している。秋から冬にかけての日照時間が長く、積雪は少ない。今年秋には 30 メガの太陽光発電施設が稼働予定。基幹産業は農林水の一次産業。人口 9,080 人 (H25.2 末)。
- ◆ 森林、川、海の自然がもたらす豊富な地域資源を活かし、「一次産業の再興と振興」、「町民の健康づくり」、「教育」の三本柱にキーワードの「食と食材」を結び付け、まちづくりに取り組んでいる。

地域の活性化や安全安心の確保に向けた連携協定の締結へ

当面の主な取り組み

交流を通じた地域の活性化

- まちづくり等の情報交流
豊かで希望あふれるまちづくりに向けた相互協力など
- 地域資源の交流
イベントなどにおける特産品等の相互販売や共同した魅力の発信など

安全安心のまちづくり

- 平常時の連携
防災訓練の共同実施、防災意識の向上を図るための取組の実施など
- 災害時の連携
人的応援体制や防災資機材、物資等の提供体制など幅広い相互支援体制の構築など

「地域の充実」と「住民生活の向上」

＜事業の効果的な推進による幅広い分野の交流へ＞

「包括交流連携」とは、地理的に離れていたり、振興局のエリアを越えた「海沿いのまち」と「内陸のまち」など、地域特性が異なる市町村同士が、不足する地域資源を相互に補完し合いながら、産業、文化、スポーツなど日常的な交流により、地域の活性化を図るとともに、災害時における相互応援など、幅広い交流を行うことを目指す取り組み。